




発行元：岡山県児童養護施設等協議会「職員関連事業部会」

第7号 平成29年3月31日発行

会長あいさつ



会長：松田浩一郎

昨年の12月に、2010年から全国の児童養護施設に、匿名・仮名で寄付が贈られ続けているタイガーマスク運動の発端となった、自称「伊達直人」氏が正体を明かした。河村正剛氏その人であり、自称「普通の人」であった。河村氏は、素顔をさらすことにより、「子ども達に支援をしていたのがヒーローではなく、普通の人であると知って欲しかった。」と。また、下火になった運動の盛り上げ、さらには、行政をも巻き込んで、入所児童のみならず、退所後の支援、強いては300万人とも言われる貧困家庭の子ども達への支援をも考えているとのこと。「普通の人」では、出来ないことである。テレビ番組で、貧困家庭への支援について、施設退所者がコメントしていたが、物品による寄付、奨学金も有り難いがそれだけではなく、「『愛情の投資』が求められる。」と。また、同番組で子ども食堂の主催者が地域の方による「愛情支援」が支えであると。キーワードは「愛情」である。心の支えである。

子ども達は、なぜ生まれてきたのか。「子ども達は抱きしめられるため、周りの人を笑顔にするために生まれてきた。」と河村氏は語る。その子ども達を、抱きしめ、笑顔にすることこそが、私たちの果たすべき責務である。

新任施設長紹介



津島児童学院
学院長 原田 雅寿

法人内の異動により、平成28年4月から学院長を務めております。以前、6年間（平成14年度～19年度）津学に勤務しておりましたが、昔の感覚を取り戻す間もなく、あっという間に一年が過ぎてしまいました。

皆様にお知らせがあります。児童福祉法の一部改正により、これまでの「情緒障害児短期治療施設」から「児童心理治療施設」へと、施設種別の名称が変更になります（平成29年4月）。「情短」という略称で親しんでもらっていましたが、さて今後はどうなるのでしょうか。寂しくもあり、楽しみでもあり…。

隣接する運動公園の木々とともに、こどもたちの成長をゆったりと見守っていきたいと思います。

平成28年度 岡山県児童養護施設等協議会 組織図



